

空仰老人のまわりの場屋とていふは
いかにいふべきか
秋のひびきのさそひのまはりのあそび
かたぬ

おくそくも形さうめんやうそ
おまの月 醉茗

握まらふまのつれづれう笠の露 玉雨ぬ

我山の月さねわくまき候 小あぬ

まのも蘇こもまねはあの中 文貫

松風ささるるあけるひまきるな 雪花

あけろあま月ねたりなり 白阿

初夜や日和くあ 早山

朝の序

道の秋

